

キリン ココニワ



「一番搾り」や「午後の紅茶」などのヒット商品を生み出し、長きに渡り私たちの生活に寄り添う企業、キリングループの本社が中野にある。その総合受付フロアに「ココニワ」という展示スペースがあるのをご存知だろうか。

今回は、「ここには、(何かある)」という期待感と、「ここに、輪(和)」をつくりたいという思いが込められたココニワについて特集する。

「ココニワ」どんな場所？

所在地・東京都中野区中野4-10-2
中野セントラルパークサウス2F
キリングループ本社総合受付隣
(JR中野駅北口より徒歩約5分)

開館時間・9時~17時半
休館日・土日、祝日、会社指定休日

スーツ姿の人たちが行き交うオフィスビルに入ると、いくつかの自動ドアの先に、見慣れた「KIRIN」の赤い文字が見える。すぐ横のエスカレーターを上ると、何やら楽しい空間が現れた。

「ココニワ」は2013(平成25)年に誕生し、キリングループの過去・現在・未来を、見て・聞いて・触れて、色々楽しく体験しながら皆さんに知ってもらいための空間だ。

手続きをしなくても全ての人が自由に

どんな展示がある？



中心には、瓶の口がイメージされた円形の赤いソファが置かれている。それを取り囲むようにゆったりとした展示スペースが広がる。頭上の白くて丸い照明は、「瓶」の口から飛び出した泡のイメージだ。「泡」の色は夏場には白っぽく、冬場には温かみのあるオレンジ系に変化し、優しく空間を照らす。

「テーブルを使った展示」



5種類の展示の内3種類の主要商品を紹介するテーブルは、天板デザインに特徴がある。ビールを中心とした酒類は王冠栓、清涼飲料はペットボトルのキャップ、ワイン(シャトー・メルシャン)はコルクがそれぞれイメージされている。

酒類(ビール・チューハイ)(写真①)

左側は「一番搾り」に使用されている麦芽や一番搾りと二番搾りについての説明がある。真ん中では、「氷結®」の歴代パッケージデザインや、表面が特徴的な「ダイヤカット缶」の開栓前後の違いが、実物で見られる。右側には代官山や横浜にある、醸造所を併設したビアレストランで、実際に使用されているものと同じタップ(ビールの注ぎ口)がある。

清涼飲料(写真②)

左側に「キリンレモン」の販売当初のラベルや当時のポスター(複製)がある。真ん中は「午後の紅茶」に使用されている3種類の茶葉の香りを体験できるコーナーと、製造工場の様子を見ることができるとある。右側では「生茶」に実際に使用している粉末状の茶葉や、粉碎機の模型を見ることが出来る。

ワイン(シャトー・メルシャン)

日本ワインの誕生と飛躍に大きく貢献した、「シャトー・メルシャン」の世界を紹介した展示。勝沼や長野などで栽培されている、ブドウの実や葉っぱを型取りしたオブジェは本物とそっくり。数えきれない受賞歴の一部も紹介されている。

特別展示

年4回を目途に入れ替えられる旬を意識した展示。過去の展示内容はHPで見られる。

https://www.kirin.co.jp/entertainment/
coconiw/exhibit_old.html

その他に、この商品もキリングループだったのか?と知ることが出来る展示もある。「小岩井生乳100%ヨーグルト」のなめらかさが表現された模型や、ウイスキー「富士山麓」の小樽の内部や香りが確かめられる。

【壁面を使った展示】

丸や四角など凝ったレイアウトで色彩も豊か、目にも楽しい。例えば、ヒストリーの壁面周辺に散りばめられた赤いドットの中には、3つの「隠れ聖獣麒麟マーク」が遊び心が嬉しい。

CSV(※)コーナー

CSV活動の全体像と最新の話題を通して、キリンの環境や健康への思いを知ることが出来る。

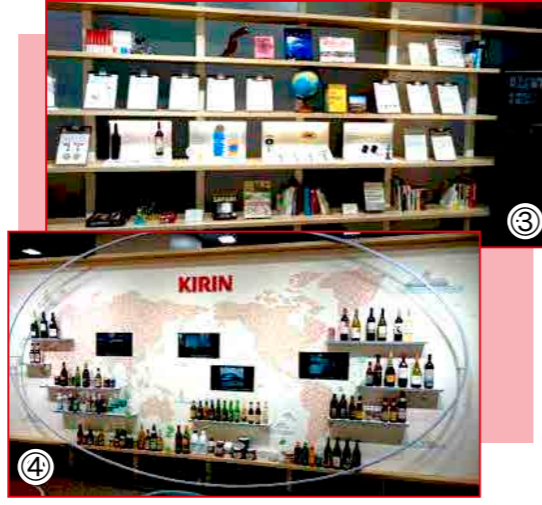
※CSV: Creating Shared Value 略

社会課題への取り組みによる「社会的価値の創造」と「経済的価値の創造」の両立により、企業価値向上を実現すること。

ヒストリー

大きな壁面に、明治以降の日本における食生活の変遷をビール、ワイン、清涼飲料を中心に描き、キリングループの出来事も紹介している。時代、世代を超えて、キリンの商品が消費者とつながっていることがわかる。またHP上の「キリン

ン歴史ミュージアム」は、キリンの歴史を知る上でとても興味深い内容である。
https://www.kirin.co.jp/entertainment/museum/



更に、工場見学案内や最新CM映像が流れるマルチビジョン、研究開発や技術開発を紹介する棚(写真③)、世界地図を背景に、各国のグループ企業の商品見本や映像が一同に見られるグローバルコーナー(写真④)など、見所は盛り沢山である。楽しく学べる博物館のようであり、洗練されたおもちゃ箱のような場所だ。

大企業の遊び心たっぷりの展示スペースに、是非一度訪れてみて欲しい。

【取材協力】

キリン株式会社
コーポレートコミュニケーション部

キリンと聖獣麒麟のお話

現在のキリン株式会社は、1907(明治40)年の麒麟麦酒株式会社創立から、2017(平成29)年で110年の節目を迎えた。キリンビールに用いられている聖獣麒麟が印象的なラベルの原型は、1888(明治21)年、麒麟麦酒株式会社の前身ジャパン・ブルワリー・カンパニーの時代に誕生した。

諸説あるが、麒麟は龍・鳳凰・亀とともに中国神話の4霊獣の1つで、身体は鹿で、牛の尾を持ち、一本の角がある。仁徳を備えた思いやりの心をもった獣で、地に足を下ろさず、虫を踏まず、草を折らない。天下泰平のきざしと伝わっている。キリンビールの麒麟はこうした伝説を元につくられた幸せを運ぶ麒麟としてデザインされたもの。

【参考文献】

『世界の怪物・神獣事典』
キャロル・ローズノ著、原書房
2014年、所蔵:本町

【参考サイト】

キリン株式会社HP
https://www.kirin.co.jp/
「ココニワ」
https://www.kirin.co.jp/entertainment/coconiw/